

教職員からのメッセージ

応用化学・生命工学系 原口直樹

「心技体」という言葉が武術やスポーツでよく使われます。語源は、古木源之助著『柔術独習書』の一節の「体」「技」「心」である説が有力のようです。現代では、心と技術と体全てのバランスが整ったとき、最大のパフォーマンスが発揮できることの教訓となっています。

では、皆さんは人生における「心技体」とはどのような事柄になると考えますか？今回は私の人生における「心技体」である「学体芸」を紹介します。

1つめの「学」は学問による知識、技術や智恵のことです。本学では技術科学の「技」と置き換えても良いかも知れません。勉学によって得た知識や技術は皆さんの生活の糧になるだけでなく、コミュニケーションの幅を広げることができます。大学では、専門となる工科系科目に加え、幅広い学問領域について、じっくり学ぶことができます。専門領域は深く、周辺領域は広く、いわば実験器具の足長ロートのように学んでもらいたいと思います。

2つめの「体」は運動や心と体の健康のことです。何をするにも、心と体が資本です。適度なスポーツや運動は健康増進に役に立ちますし、ストレス発散も健全な「体」に重要です。これまで勉強一筋？だった学生は、是非この機会に軽い運動などを始めてはいかがでしょうか。

3つめの「芸」は芸術、文化、趣味のことです。これらは無くても日々の生活でそれほど困ることはありませんが、これらの文化的活動は、皆さんの人生をより豊かにしてくれると思います。私は音楽を少々嗜みますので、曲について少し触れたいと思います。ある曲において、作曲時の様々な背景や作曲者がその曲に求める表現を理解し、それを実現（演奏）することが重要です。自分のできる範囲での曲の解釈や演奏方法などを試行錯誤しますが、演奏を楽しむだけでなく、演奏を通じて自分と向き合っていると感じています。

以上、私の「学体芸」を紹介しました。より充実した日々を過ごすために、皆さんの人生における「心技体」を是非考えてみてください。